

## 2020年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月3日

上場会社名 株式会社TSIホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 3608 URL https://www.tsi-holdings.com  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)上田谷 真一  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)大石 正昭 (TEL)03(6748)0001  
 四半期報告書提出予定日 2019年7月3日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年2月期第1四半期の連結業績(2019年3月1日~2019年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第1四半期	42,870	9.4	1,913	72.1	2,182	47.4	2,473	327.3
2019年2月期第1四半期	39,193	0.8	1,111	△34.7	1,480	△24.4	578	△49.1

(注) 包括利益 2020年2月期第1四半期 1,094百万円 (—%) 2019年2月期第1四半期 △804百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年2月期第1四半期	26	24	—	—
2019年2月期第1四半期	5	84	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第1四半期	178,783	102,217	55.4
2019年2月期	181,500	103,579	55.3

(参考) 自己資本 2020年2月期第1四半期 99,007百万円 2019年2月期 100,324百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
	銭	銭	銭	銭	銭
2019年2月期	—	0	—	17	17
2020年2月期	—	—	—	—	—
2020年2月期(予想)	—	0	—	17	17

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日~2020年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	84,000	11.7	△600	—	100	△86.0	2,300	—	24.32
通期	178,000	7.9	3,400	48.4	5,000	27.8	4,000	—	42.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年2月期1Q	105,783,293株	2019年2月期	105,783,293株
2020年2月期1Q	12,315,907株	2019年2月期	11,210,462株
2020年2月期1Q	94,259,814株	2019年2月期1Q	99,052,570株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2019年3月1日から2019年5月31日まで）における当アパレル業界は、主に高額商品を中心としたインバウンド需要に回復が見られるものの、不安定な気温の変化により春物等主力商品の動きに力強さを欠くなど、衣料品全体の消費動向としては足踏み状態が続いております。

このような経営環境のもと当社グループは、2019年4月に発表した新中期経営計画に基づき、グループ構造の見直しを最優先で進めてグループ体制の最適化に向けた施策に取り組むと同時に、主にプロパー消化率の改善を目的としたセールに頼らないブランディングとビジネスモデルの構築に努めるなど、利益率向上に向けた施策を推し進めました。また、海外事業についてはグローバルブランドの更なる展開国の拡大を図るとともに、新規事業も視野に入れた海外進出に向けて取り組んでまいりました。成長市場であるEC事業においては、引き続きオムニチャネル化の推進を図るとともに、デジタル化への継続投資ならびに自社ECの強化を進めてまいりました。

その結果、売上高は428億70百万円（前年同四半期比9.4%増）となりました。

また、これまでの全社的な販管費抑制策に加えて、グループ全体の利益率向上に努めた結果、営業利益は19億13百万円（前年同四半期比72.1%増）となり、経常利益は21億82百万円（前年同四半期比47.4%増）となりました。

また、特別利益を12億94百万円計上したことにより、当社グループの親会社株主に帰属する四半期純利益は24億73百万円（前年同四半期比327.3%増）となりました。

セグメント別の売上の概況は次のとおりです。

## (アパレル関連事業)

当社のグループ子会社につきましては、2019年4月に発表した新中期経営計画に基づき、主として既存ブランドの改革と業務の効率化による収益の向上に取り組まれました。

マーケットにおける節約志向は依然として続き、個性が際立ち、価格競争に巻き込まれない市場価値の高いブランド運営が求められているなか、既存事業については、基幹ブランドの「ナノ・ユニバース」、ゴルフブランドの「パーリーゲイツ」、レディースブランドの「エヌ ナチュラルビューティーベーシック」や、前期よりグループに迎え入れた(株)上野商會が手掛ける「アヴィレックス」が、特色を活かした商品を展開することにより収益力の更なる拡大を目指しました。

EC事業につきましては、引き続き店舗との連動を強めるとともに、スマホアプリ経由の売上拡大に取り組み、自社EC比率やオムニチャネル会員比率を伸長させ、グループ全体の売上高に占めるEC比率の向上を目指しました。これらの取り組みにより、アパレル関連事業の売上高は、415億76百万円（前期比9.5%増）となりました。

## (その他の事業)

その他の事業につきましては、販売代行及び人材派遣事業を営む(株)エス・グループ、合成樹脂製品の製造販売を行なう(株)トスカバノック、店舗設計監理や飲食事業を営む(株)ブラックス、そして米国カリフォルニア州で人気のオーガニックカフェを日本で運営するUrth Caffè JAPAN(株)などの事業により、売上高は26億19百万円（前期比4.2%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間末 (2019年5月31日)	増減
総資産	181,500	178,783	△2,717
負債	77,920	76,565	△1,355
純資産	103,579	102,217	△1,362
自己資本比率	55.3%	55.4%	0.1%
1株当たり純資産	1,060.82円	1,059.27円	△1.55円

総資産は、受取手形及び売掛金の増加（前期末比13億38百万円増）、たな卸資産の増加（前期末比22億30百万円増）、流動資産「その他」の増加（前期末比18億33百万円増）等があったものの、現金及び預金の減少（前期末比

18億14百万円減)、有価証券の減少(前期末比40億11百万円減)、投資有価証券の減少(前期末比26億44百万円減)等により、27億17百万円の減少となりました。

負債は、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)の増加(前期末比139億24百万円増)等があったものの、短期借入金の減少(前期末比129億94百万円減)、流動負債「その他」の減少(前期末比15億53百万円減)等により、13億55百万円の減少となりました。

純資産は、利益剰余金の増加(前期末比8億3百万円増)等があったものの、純資産の控除項目である自己株式の増加(前期末比7億52百万円増)、その他有価証券評価差額金の減少(前期末比12億25百万円減)等により、13億62百万円の減少となりました。

以上の結果、1株当たり純資産は、1.55円の減少となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の業績予想につきましては、2019年4月10日に公表しました業績予想から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	31,741	29,926
受取手形及び売掛金	11,624	12,962
有価証券	4,011	-
商品及び製品	21,506	23,818
仕掛品	558	379
原材料及び貯蔵品	523	620
その他	6,233	8,066
貸倒引当金	△140	△77
流動資産合計	76,057	75,696
固定資産		
有形固定資産	13,005	13,765
無形固定資産		
のれん	10,623	10,402
その他	7,305	7,103
無形固定資産合計	17,928	17,506
投資その他の資産		
投資有価証券	36,497	33,853
投資不動産	17,631	17,527
その他	20,480	20,565
貸倒引当金	△100	△130
投資その他の資産合計	74,508	71,814
固定資産合計	105,442	103,086
資産合計	181,500	178,783
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,127	15,439
短期借入金	21,054	8,060
1年内返済予定の長期借入金	5,617	8,156
未払法人税等	1,226	495
賞与引当金	1,435	2,089
ポイント引当金	424	449
株主優待引当金	38	40
返品調整引当金	219	237
資産除去債務	122	10
その他	9,198	7,645
流動負債合計	55,465	42,625
固定負債		
長期借入金	16,733	28,118
役員退職慰労引当金	96	97
退職給付に係る負債	956	1,043
資産除去債務	2,381	2,553
その他	2,287	2,127
固定負債合計	22,455	33,940
負債合計	77,920	76,565

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	37,513	37,513
利益剰余金	49,457	50,260
自己株式	△8,737	△9,490
株主資本合計	93,233	93,284
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,042	5,817
繰延ヘッジ損益	△0	-
為替換算調整勘定	139	△9
退職給付に係る調整累計額	△92	△85
その他の包括利益累計額合計	7,090	5,722
非支配株主持分	3,255	3,210
純資産合計	103,579	102,217
負債純資産合計	181,500	178,783

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)
売上高	39,193	42,870
売上原価	16,994	18,258
売上総利益	22,199	24,611
販売費及び一般管理費	21,087	22,698
営業利益	1,111	1,913
営業外収益		
受取利息	64	66
受取配当金	144	127
不動産収入	321	342
為替差益	1	-
投資有価証券評価益	-	16
その他	83	111
営業外収益合計	616	665
営業外費用		
支払利息	31	48
為替差損	-	94
投資有価証券評価損	48	-
デリバティブ評価損	1	-
不動産賃貸費用	128	134
その他	37	117
営業外費用合計	247	395
経常利益	1,480	2,182
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	-	195
関係会社株式売却益	-	1,096
区画整理事業精算益	108	-
その他	0	-
特別利益合計	109	1,294
特別損失		
固定資産除却損	2	33
減損損失	278	6
その他	0	-
特別損失合計	280	39
税金等調整前四半期純利益	1,309	3,437
法人税、住民税及び事業税	710	485
法人税等調整額	21	492
法人税等合計	732	977
四半期純利益	577	2,459
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△13
親会社株主に帰属する四半期純利益	578	2,473



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)
四半期純利益	577	2,459
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△655	△1,226
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△756	△122
退職給付に係る調整額	21	6
持分法適用会社に対する持分相当額	9	△23
その他の包括利益合計	△1,381	△1,365
四半期包括利益	△804	1,094
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△770	1,105
非支配株主に係る四半期包括利益	△33	△11

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(追加情報)

〔「従業員持株会信託型E S O P」〕

当社は、2014年8月19日開催の取締役会決議に基づき、福利厚生の一環として、従業員インセンティブ・プラン「従業員持株会信託型E S O P」を導入しております。

## ①取引の概要

当社は、「TSI社員持株会」(以下、「持株会」といいます。)に加入する当社グループ社員のうち、一定の要件を充足する者を受益者とする信託(以下、「持株会信託」といいます。)を設定しました。

持株会信託は2014年10月より5年間にわたり持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を、借入により調達した資金で予め取得しました。その後、持株会による当社株式の取得は、持株会信託により行ないます。なお、当社は、持株会信託の当該借入に対し補償を行なっております。

## ②信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度215百万円、345千株、当第1四半期連結会計期間204百万円、327千株であります。

## ③総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

前連結会計年度196百万円、当第1四半期連結会計期間196百万円

〔「株式給付信託(B B T)」〕

当社は、2016年5月25日開催の第5期定時株主総会決議に基づき、当社の取締役及び委任型執行役員並びに当社グループの取締役(以下、「対象役員」といいます。)に対する業績連動型の株式報酬制度「株式給付信託(B B T)」を導入しております。

## ①取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託を通じて取得され、対象役員に対して、役員株式給付規程に基づき、業績達成度等に応じて付与されたポイントに相当する当社株式及び当社株式を退任日時点の時価で換算した金額相当の金銭(以下、「当社株式等」といいます。)が信託を通じて給付される報酬制度であります。

なお、対象役員が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として対象役員の退任時とします。

## ②信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度291百万円、518千株、当第1四半期連結会計期間291百万円、518千株であります。

〔「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用〕

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 3
	アパレル 関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	37,904	1,274	39,178	14	39,193
セグメント間の 内部売上高又は振替高	70	1,458	1,529	△1,529	—
計	37,974	2,732	40,707	△1,514	39,193
セグメント利益	2,614	142	2,756	△1,645	1,111

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂関連事業及び店舗設計管理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,645百万円は、事業セグメントに帰属しない全社費用1,704百万円及び連結会社間の内部取引消去額等58百万円です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「アパレル関連事業」セグメントにおいて、退店の意思決定をした店舗、営業損益が継続してマイナスである店舗及び閉鎖の意思決定をしたブランドに係る店舗等について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において271百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 3
	アパレル 関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	41,501	1,351	42,853	16	42,870
セグメント間の 内部売上高又は振替高	74	1,267	1,342	△1,342	—
計	41,576	2,619	44,195	△1,325	42,870
セグメント利益	1,782	97	1,880	33	1,913

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂関連事業及び店舗設計管理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額33百万円は、連結会社間の内部取引消去額等によるものです。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

4 当第1四半期連結会計期間より、グループ経営の最適化を図るため、当社が関係会社より徴収するグループ統括管理に係る代価の徴収方法を変更しております。これにより、「アパレル関連事業」のセグメント利益は1,605百万円、「その他」の区分のセグメント利益は50百万円それぞれ減少し、セグメント利益の調整額は1,656百万円増加しております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。